

1. 生物の多様性・共通性とその由来.

生き物のからだはすべて「細胞」によって構成されています。

細胞の大部分は「微小」で肉眼で見ることにはできませんが、どの生物も様々な形と働きをもつ小さな細胞が集まってつくられています。



生物のからだを構成する基本単位は「細胞」なのです。

地球上には多様な生物が、様々な環境で生活しています。

これらの生物は、外見、生活の仕方などが様々で、多様性が見られます。

一方で共通性をもっているのはなぜか？

すべての生物は共通の祖先から誕生し、
進化して様々な生物種が出現したため。

- 生物の形質が、世代を重ねて受け継がれていく過程でさまざまに変化していくこと --- (進化) という。
- 生物を分類するときの基本単位 --- (種) という。
- 現在知られている生物の種類は、約 (200万) 種ある。
- 地球上で最も種が多い生物は (節足動物) であり、約 126万種いる。